



発行 白子川源流・水辺の会  
代表 菅沢 博  
(03-3923-8430)  
事務局 練馬区東大泉 6-36-4-301  
副代表 本田 純  
(03-3924-9181)

題字 宮本 沙海

写真 東谷 貞子

編集 渋谷 暲司

「白子川の子ら」は大人に元気をくれる。

週末になると大泉井頭公園(白子川源流)を走り  
登り、跳ね、笑っている。

▼こんなに自由奔放な子どもたちに、私たちは  
何を残せるだろうか。また、声なき声の生き物、  
自然の摂理に従って静かに生き延びている生き  
物たちに、私たちはどんな手を差しのべられる  
だろうか。

▼縦糸と横糸が複雑にからみ合う都市の、人と  
自然の関係において、奇策は無いだろう。  
まずは、私たちの生活の在りようを、少しずつ  
変えていくことが大切なのだと思う。大げさに構え  
るより、ひとつずつ、こつこつと、実行していくしか  
ないのではないか。そうすれば、いつかきっと、  
ローからセカンドへ、ギアチェンジする時がやって  
くると信じてい。

▼白子川の子らの屈託のない笑顔や、湧水の中  
の魚群を見ていると、「期待」という言葉の積極的  
な意味合いが見えてくる。

こんな大都市の片隅で、自然、生き物、子どもら、  
大人たち、地域全体が、互いに補完し合い、折り  
合いをつけながら歩んでいくことが大切だと思う。  
私たちみんなが、「期待」を胸に秘めて、明日も、  
生きていけたらいいよね！ 菅沢 博



子どもたち、ありがとう。  
白子川、ありがとう。

## 実行委員会報告

まつり実行委員長 菅沢 博

第7回白子川源流まつりは、秋晴れの10月14日に、にぎやかに開催されました。

- ・後援 練馬区環境保全課 練馬区教育委員会
- ・助成 練馬区都市整備公社まちづくりセンターまちづくり活動助成事業の助成金

◎地元のみなさん、遠方からのみなさん、ご来場ありがとうございました！

この祭りにご寄付等ご支援くださったみなさん、心よりお礼申し上げます！

◎「白子川調べ学習」発表で、多くの感動をくれた南小学校4年生たち、ありがとう！

◎祭りに暖かい風を届けてくれた各演奏家のみなさん、感謝します！

◎出展参加の各団体さんには、より大きな視野からの情報提供、お疲れさまでした。

◎7年連続でご尽力いただいているボーイスカウト練馬17団のみなさん、

実行委員の友人・知人のみなさん、

実行委員のみなさん、

事務局の油断と慣れから、「報告・連絡・相談」が十分とはいえず、ご心配・ご迷惑をおかけしましたが、いつもありがとうございます。

◎最後に、“メダカ博士”の大塚（会員）さん。

第1回源流まつりから今回までの7年間、およそ10000匹にも及ぶメダカの  
厳しい飼育管理とご提供を続けてくださって、感謝のしようもありません。

**白子川には、人を動かし、地域を動かす力があります。  
来年も、源流の川端で、お会いしましょう！**



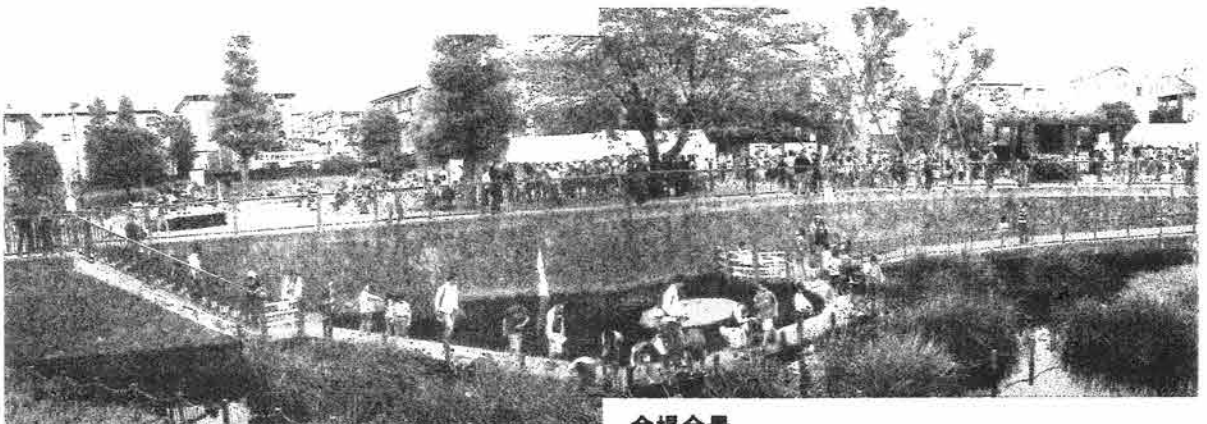
練馬区環境保全課 林課長様による激励の挨拶

# 第7回 白子川源流まつり

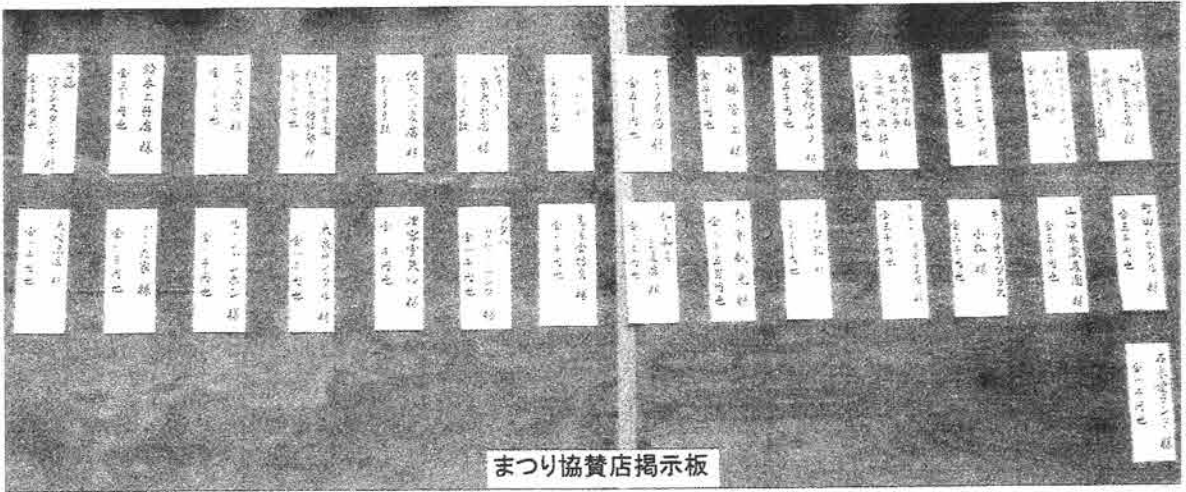
後援 練馬区 環境保全課  
教育委員会



メインスローガン



会場全景



まつり協賛店掲示板

会場案内図とサブスローガン



《白子川源流の豊かな清流と水鳥の郷をどし愛しよう。》

- ・豊饒の清流を愛し、川をまわって水鳥を愛護し、まつりしよう。
- ・自然の恵みを大切にし、環境を守ろう。
- ・水鳥の鳴き声、清流の音を聞き、癒されよう。
- ・清流と水鳥の郷を、心をこめて愛しよう。
- ・心をこめて、水鳥を愛護しよう。
- ・清流と水鳥の郷を、心をこめて愛しよう。

《白子川源流を、生きものたけいっしょにしよう。》

- ・生きものたけいっしょにしよう。
- ・生きものたけいっしょにしよう。
- ・生きものたけいっしょにしよう。
- ・生きものたけいっしょにしよう。
- ・生きものたけいっしょにしよう。

白子川源流の豊かな清流と水鳥の郷を、  
子どもたちも愛し、ひいては皆で愛護しよう。

～白子川源流-水鳥の郷-スローガン～



練馬第17団ボーイスカウトによる駐輪場整理



## 受付・まつり本部

永井 薫

今年は、第7回目にしての、“まつり事始”をご紹介しますご報告とします。

### <事始その1.>

#### 「2バージョンの会場案内図」設置

南北に流れる白子川の“東側から見た会場案内図”と“西側から見た案内図”の2種類を特大サイズに拡大して、それぞれのリバーサイドに掲げました。分かり易いと大好評でした。

### <事始その2.>

#### 「メダカ通信」送付ツール変更

メダカプレゼントと一緒にお渡ししていたハガキを、財政難から、今年はFAXに切り替えました。大塚重雄メダカ博士が手塩にかけて育ててくださったメダカをプレゼントされた方は、“メダカの飼い方”の用紙裏面にある“メダカ通信”に、メダカの様子等を書いて下記まで是非送信ください。待っています！

### <事始その3.>

#### ママをたずねて三千里

迷子の坊や発見！司会の喜多さんの迷子放送と同時に無事母子再会・・・、本部担当一同ホッ！

### <事始その4.>

近隣にお住まいの方から路上駐車のご指摘まつりへお越しいただく方の足は、正に“足”と“自転車”しか想定していなかったのも事実で、公園近隣にお住まいの皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。この場をお借りして陳謝申し上げます。来年への反省材料とするとともに、遠方からご参加いただく方々への道案内設置等についても、配慮していきたいと思えます。

### <事始その5.>

#### ①「白子川美術館絵葉書セット」完売

白子川源流・水辺の会の会員である萩原和雄さんのスケッチ画と、同じく会員である山科 順 さん



の写真を絵葉書にした、3枚入り50セット(@¥250)の絵葉書セットが即売でした。ご好評につき毎月の定例調査(第4日曜日)でも準備することと致しましたので、お声掛けください。

②最後に、先般、朝日新聞に掲載された“秩父夜祭”の記事(“ふるさと芸能帳”07.11.14)をご紹介します、白子川源流・水辺の会の私たちの源流まつりへの思いをあらためてお伝えしたいと思います。

・・・絹の集散地だった秩父で、その年の絹取引を締めくくる一大行事として始まった祭りは江戸時代から300年の歴史がある。その祭りが、人々を魅了し続けて今に受け継がれる理由について、本町祭事部長の小川祐司さんは、「祭りは誇りです。それがなければ、やっていく意味がない。」と語っています。・・・

そう、水辺の会の私たちの思いも同じです。“まつりは誇り”です。

#### 【“メダカ通信”送信先】

FAX : 03-3923-8430 (菅沢博)

03-3924-9181 (本田純)

郵送 : 〒178-0064

練馬区南大泉1-28-1 (大塚重雄)

## 白子川の生き物コーナ

横山 松栄

最近は源流の特色であるホトケドジョウの姿がめっきり減ったことが、懸念されます。かろうじてホトケドジョウを見ることができました。小鮒は大きくなり、群れて泳ぎ回るようになり、捕獲できませんでしたが姿は確認しています。今回は、大塚さんからフナを貸していただきました。昨年と同じく、ヤゴ（ウスバキトンボ、ギンヤンマ）は比較的多くいました。ザリガニが一番多く見かけました。子供たちには人気があります。

水生植物は、ヒメガマ、カンガレイ、オオフサモ、ウキヤガラ、ミクリ、クレソン、下流から持ってきたミズキンバイ等を展示しました。

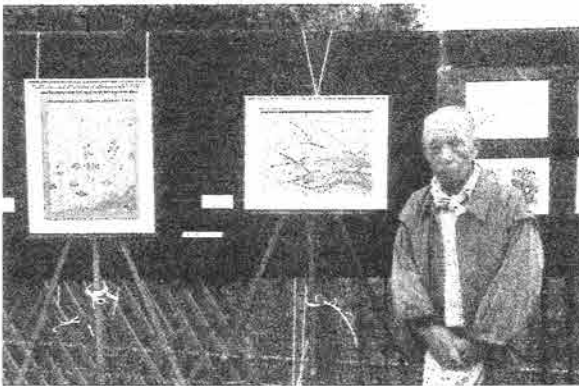
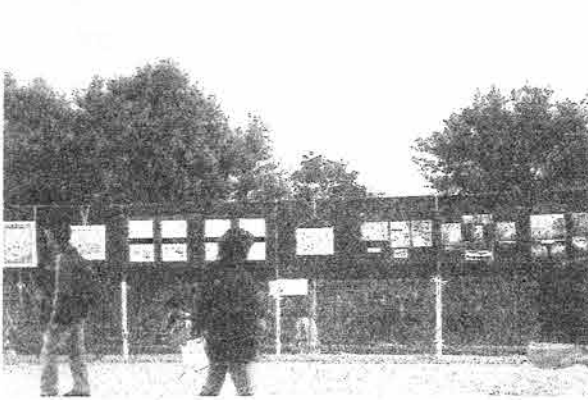
源流にホトケドジョウが見られなくなった原因を探っていますが、まだわかりません。今年は、アオミドロの異常発生とヘドロ状の泥が増えています。大きなコイも数匹下流から入り込み、また、小魚を狙う鳥類が多くなったのと、ヤゴの大量発生も小魚にとっては脅威であったと思われます。

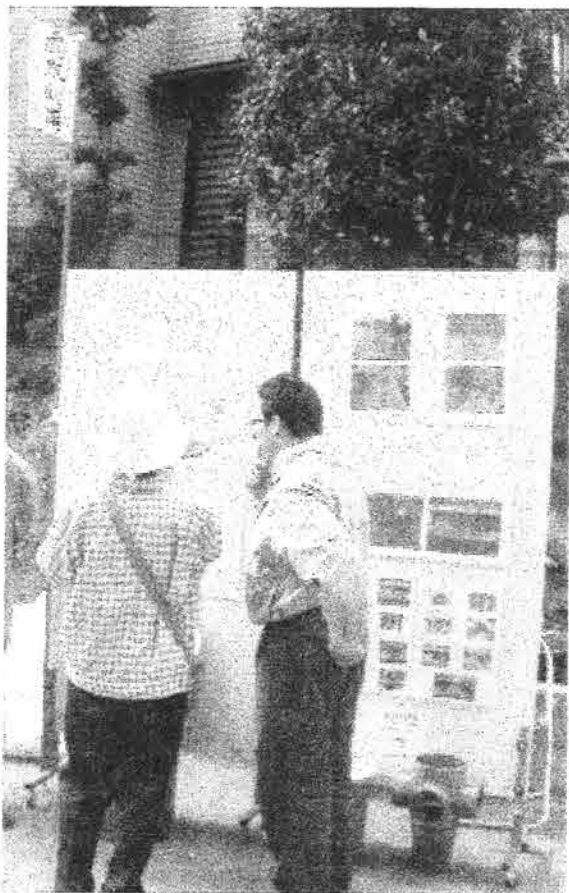


## 展示コーナー

東谷 貞子

「白子川美術館」の看板を掲げた展示コーナー。館の目玉は、メダカ博士が描いた日本画（額も自家製）や源流通信でおなじみ、萩原さんのスケッチ、そして、山科さん撮影、四季折々の源流風景写真。今年、これまでのまつりで、見物の人々からもれ聞こえていた「こんな絵の、この写真の絵はがき欲しい！」を実現！試しに準備した絵はがきは、完売！嬉しい悲鳴をあげた。また、例年好評の白子川近辺の古地図、昔の航空写真は、お年寄りの方たちには懐かしい思い出を語る糸口。ぜひ、聞き取り調査を開始、昔の白子川の姿を今に伝えたい。





今年は、雨水浸透枡の実物が展示できたお陰で、皆さんには、浸透枡を更に実感して頂けたようでした。

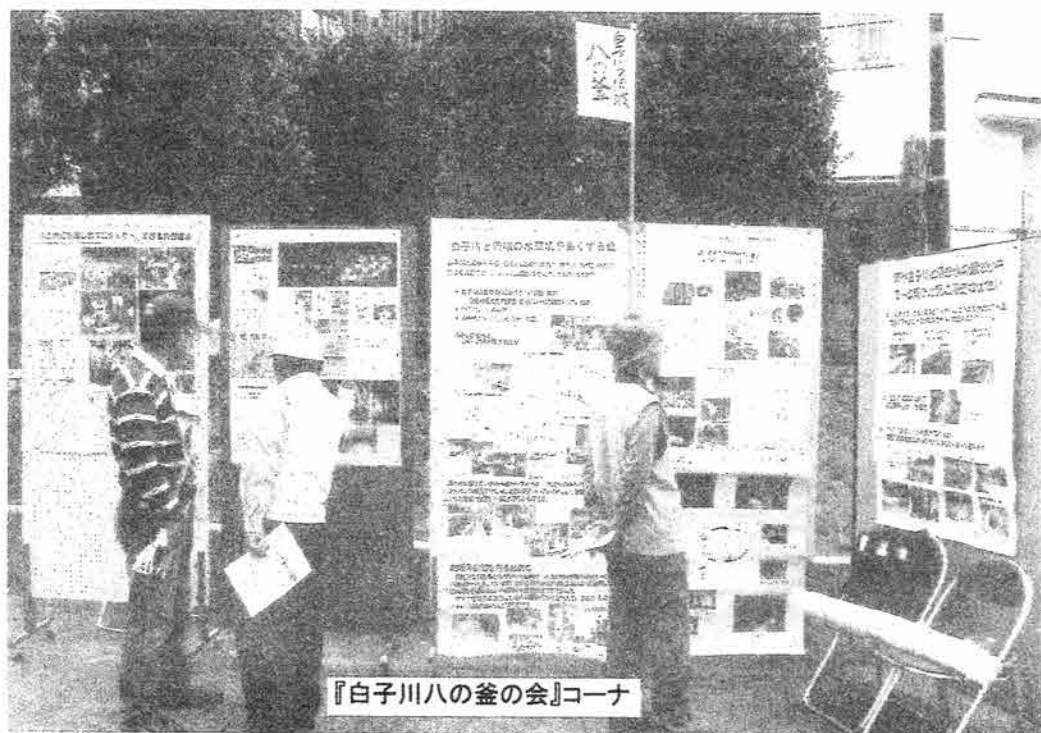
パネルだけでは、説明する側の意向が出てしまい、限界を感じる思いでした。実物があることによっていろいろな見方が出来るようになり、様々な会話が見られました。来場者の素朴な疑問等に応えることが”普及”の原点であると改めて実感した次第です。

実物を提供して頂いた地元のK管工さんには感謝申し上げます。

更に、今年は『白子川八の釜の会』からも出展して頂きましたが、資料が多く充実した内容で、我々の不勉強さを思い知らされる思いでした。

有難うございました。

来年も宜しくお願いいたします。



『白子川八の釜の会』コーナ



### 1. テント内展示

- (1) 大泉井頭遺跡の発掘調査。第7次及び第1次～第6次までの結果のまとめ。
- (2) 縄文土器の編年。
- (3) 縄文時代竪穴住居の佇まい(たたずまい)。
- (4) 土器・石器の使われ方。

### 2. 体験

- (1) 土器に縄文の施文、5種類。
- (2) 火鑽り(ひきり)で火起し、4種類。

### 3. 結果

テント内展示の順序に従ってガイドをしたのは3回あり、リクエストに応えたのが2回ありました。体験がはじまると展示のガイドが出来ない状態になり残念であった。4人でてんでこ舞い。

### 4. 反省点

- (1) 時間を区切って展示ガイドの後、縄文・火鑽りの実演にすれば効果的ではないか。
- (2) 白子川沿岸の大泉井頭遺跡を遠望しながら解説できるロケーションがあるのに、利用できなかったのは残念。

### 5. これから

縄文コーナーは一過性のようにも思えますが、発掘現場に「大泉井頭遺跡」の標識が建つ予定もあり、来年参加するならば、一考の上、「白子川の縄文時代ランドスケープ」として子供向けの「衣」・「食」・「住」を取り上げたらどうかと考えています。



火きり体験(火を起こす)



縄文付け(粘土の板に模様をつける)

※安藤さん、渋谷さん、渡部さん、庄司さん、  
終始熱心にお手伝いをして頂き有難うござ  
いました。

◆源流まつりはどんどんちよっとずつつながらきているなと感じました。

小学生の反応が年々よくなっているのです。川に入ったことがある子どもも結構いました。水辺の会の地道な活動は実を結んできていると思いました。

◆水中映像だけだとこちらも飽きるので今回はデジカメ写真のA4プリントを6枚持っていき、説明を時々してみました。



①. 川の増水時と平常時の定点写真-小学

生の感想「カルガモのヒナが流されるのかな、かわいそう」

②. 東西橋あたりの工事の写真 -子連れ男性の感想「川を深くするだけの策じゃダメでしょ」

③. セキレイの写真-オレ「ハクセキレイだよ」-小学生「違うよオジサン、セグロセキレイだよ」

④. 前田橋あたりのカワセミの写真-おばあちゃんの感想「キレイね。石神井公園から飛んできてるのかしら？」-オレ「川の水が最近キレイになったからカワセミが来るんです。

というのほうです。わかりません」

◆さて動画映像。子ども、子連れとともに、意外に年配の方も入ってきます。そして昔のはなしを語ります。余裕があればムービーを撮っておけば良かったのだが....。

VOL.1が11分、VOL.2が15分、まつりではいささか長い、次回制作するなら5分バージョンをまつり用に。

◆小生のMacPowerBookG4を持っていったが1台だときびしいと思っていると、青江さんが事務所からPowerBookG4を持ってきてくれました。感謝します。

## ホタルコーナ

町田会員が自宅で、精魂込めて育てた”ホタルの幼虫”や”かわにな”に、興味津々。



ホタルの幼虫って・・・、どこ？



## 『白子川調べ学習』発表

大泉南小学校4年生が、この約1年間、  
白子川について調べたこと、解決したい課題をもとに  
グループで活動を進め、その結果が発表されました。

おまつりのメインイベントともなった恒例の発表は、地域の人達の関心も高く聞き入る人が多勢集まり  
盛り上がりました。そして、発表する真剣な眼差しに若いエネルギーを感じてか、聞き入る顔には微  
笑みが溢れ絶えませんでした。



## その他ステージ催し



白子川談義  
高橋豊治さんを囲って



混声合唱  
はらっぱ音楽隊



三重奏 くきのこ



ヴォーカル&ギター  
ゴーバック・サタデイズ

## マシュマロコーナ

開場後間もなく、品切れとなってしまいました。



もう出来たんじゃないの？ まだだって・・・！ う～ん。



17団ボーイスカウトによる  
ゲームコーナ

## 「心の東京ルール」と白子川源流まつり

団委員長 大橋 仁

少し古い話になりますが、東京都では平成12年8月に「心の東京革命行動プラン」が策定され10月に推進協議会が設立されました。その趣意書では冒頭下記の内容が記されています。

「21世紀のグローバル社会の中で日本社会の発展を期するには、自主的、自立的であると共に優れた知性と豊かな発想力、創造性をもった人材の育成が必要です。

しかしながら、近年、少子化や核家族化、都市化が一層進展し、精神的な価値よりも物的価値、社会的責任より個人の権利が優先されるという風潮が広まる中で、いじめなど、子供達をめぐると問題は極めて深刻で危機的な状況にあります。

こうした問題の根底には、社会で最低限守らなければならない人間としての基本的なルールの欠如があり、物事の基本的な道理ともいべき価値の機軸が失われているように感じられます。

これらの問題に関して、親と地域の大人たちが責任をもって、思いやりの心や、自然を愛する心、人が生きていく上での当然の心得を、次代を担う子供たちに家庭、学校、地域、そして社会全体がきちんと取り組んでいかなければなりません。」

白子川源流まつり実行委員会の運営に当たる多くの大人たちの自然を尊ぶその行為は、まさに自然を愛し、子供達を愛する事が底辺に有るものだと思います。

石原東京都知事は、このプランの推進役を具体的にボーイスカウト運動、組織に協力を要請していると同時に、白子川源流まつり実行委員会にも同様だと思えます。

<子供の育成の方向>は、社会の「きまり」や人との約束を守る。思いやりを持つ。自らを律することができる。責任感、正義感をもつ。人々や社会のために役立つことに喜びをみいだす。

そして社会の基本的な「心の東京ルール・7つの呼びかけ」とは

- ①毎日きちんとあいさつせよう。
- ②他人の子供を叱ろう。
- ③子供に手伝いをせよう。
- ④ねだる子供にがまんをさせよう。
- ⑤先人や目上の人を敬う心を育てよう。
- ⑥体験の中で子供をきたえよう
- ⑦子供にその日の事を話させよう。

これらは直接、「白子川源流まつり」に結びつかない部分も有るかもしれませんが、奉仕に参加させて頂き、豊かな心の育成が大人にも子供達にも必要な事が底辺に有るものと感じております。

日頃の我々ボーイスカウト運動・活動のなかで又家庭内での呼びかけを何時も心掛けて行きたいものですし、及ばずながら白子川源流まつりへの奉仕活動を続けて協力してゆきたいと思っております。

## 水と川コーナー

白子川の水量(流量)や水質の推移や温暖化の傾向等について、当会独自の蓄積データの公開も行ったのですが、意に図らずや！！

子ども達の関心は、水質分析実習コーナーでした。体験することに、彼らは強い関心を持っていることを改めて実感した次第です。



## ミニ焼き印コーナー

ほのかに漂うけむりの香りに、和やかな表情が印象的でした。



## プレゼント、めだかコーナ



めだか プレゼント

“大塚メダカ博士”が丹精こめて育て上げたクロメダカは今年も、子どもたちへの、ほのかな夢のプレゼントでした。

(「うちの子は、いただいたメダカの半分が死んじゃったので、大泣きしてました。」と或る親の後日談。)



どんぐりこま うまく回わるかな……。 やったー！！

## ペットボトルトラップ

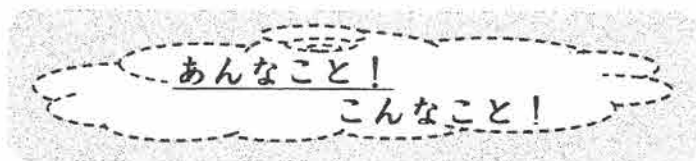
前夜仕掛けたトラップに、去年はザリガニが入ってたけど。今年はずいぶんいっばいで、生き物は殆ど入ってませんでした。



ロープを手繰って、トラップの引き上げ



何がいるのかな？



## 折りたたみ自転車でブラリ旅

菅沢 博

電車に乗って旅に出ると、車窓に飛び込んでくる風景が「こっちへおいで」と招く。懐かしい風景や大自然に身を委ねたくなる。中央線なら、大月を過ぎたあたりから、西武池袋線なら飯能あたりから。

しかし、目的地はずっと先だから、そこで下車するわけにはいかず、写真におさめて我慢。これ

が今までの旅だった。……目的地を決めないブラリ旅がしたいもんだ……。

で、1月末には折りたたみ自転車が手に入る。車輪20インチ、重量8.9kgと超軽量車が発売されると聞いて即発注した。

この自転車で、JR青春キップを買えば、ブラリ旅が実現する。待ち遠しい。

## 白子川の生き物シリーズ

### ポリゴナム (和名：ひめつるそば)

耐寒性の多年草で、淡紅色の球状の花が咲き、カーペット状に広がります。葉に黒斑がV字に入ります。タデ科。

これは、水生植物というわけではないのですが、最近白子川に限らず、石神井川の護岸にも生育しています。

白子川では、火の橋から松殿橋にかけての護岸で数箇所見かけます。園芸種としても人気があります。

原産地はインド北部です。



横山 松栄

### 編集後記

出勤途中のある日のこと。西武池袋駅ホームを、停車中の電車に沿って速足で乳母車を押す女性が居た。発車のベルが鳴り終わりドアが閉まりかけると、女性はいきなり乳母車をドアの隙間に押し込んだのである。周囲から、どよめきの声が上がった。母親ではないのかよ！大事に至らず、ドアが開き女性が乗り込むと、電車は何事も無かったように走り去った。こんなことあって良いんだろうか？ なんと、恐ろしいことか！！ (渋谷)